



2025年12月15日

各 位

会 社 名 t r i p l a 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役 CEO 高 橋 和 久
代表取締役 CFO 鳥 生 格
(コード番号: 5136 東証グロース市場)
問い合わせ先 取 締 役 CFO 岡 義 人
TEL. 03-6276-6553

個別業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2025年10月期の個別業績につきまして、前事業年度の実績値と比較して差異が生じることをお知らせいたします。

記

1. 2025年10月期の個別業績と前期実績との差異 (2024年11月1日～2025年10月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 1,639	百万円 324	百万円 284	百万円 264	円 銭 45.69
当期実績 (B)	2,150	533	555	473	80.45
増 減 額 (B - A)	510	209	271	208	34.76
増 減 率 (%)	31.1%	64.6%	95.4%	79.0%	76.1%

(差異の理由)

営業収益は、tripla Book の導入施設数及び取扱高・GMV (Gross Merchandise Value) が大幅に増加したことにより加え、tripla Bot、tripla Connect 等の周辺プロダクトのクロスセルが進展したことにより、大きく増加いたしました。

営業利益は、費用内訳の大半を占める人件費について、特に開発分野において採用強化を行い営業費用が増加しましたが、海外子会社を活用した採用によるコストの最適化が進んだこと、営業収益の大幅な増加により、結果として営業利益は前期実績を大きく上回る水準となりました。

経常利益は、tripla Book の取扱高の増加に伴い、事前決済による預り金残高が増加したことから、受取利息 23 百万円を中心とした営業外収益が増加したことによるものです。

当期純利益は、経常利益の増加に加え、連結子会社 tripla Singapore Pte Ltd. (旧 ENDURANCE TECHNOLOGY SOLUTION PTE. LTD.) の子会社株式の評価損 69 百万円、法人税、住民税及び事業税等 111 百万円、及び繰延税金資産の回収可能性の再検討の結果、繰延税金資産と法人税等調整額△96 百万円 (△は利益) 等を計上したことによるものです。

なお、通期連結業績につきましては、本日開示の「2025年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以上